Vol. 22 No. 6058 Friday April 22 1927 TAIRIKU NIPPO 一九二七年四月廿二日（金曜日）第六千五百五十八號

新古家具賣買 落合商店 各種の種類取揃へ置きます 電話（イ）一一六六

大陸日報

TAIRIKU NIPPO (THE CONTINENTAL DAILY NEWS) PUBLISHED BY TAIRIKU NIPPO SHA, LTD. 138 CORDOVA ST. E. VANCOUVER, B. C.

本紙定價（前金）登ヶ月七拾五仙 六ヶ月四弗貳拾五仙 壹ヶ年八弗貳拾五仙 發行所 株式會社大陸日報社 社長 山崎寧 晩香坡市東カドバ街一三五 電話シーモア六五三〇

——日本の財界の混亂（一）

◇商價なる放言

止め度なく陳下せる法の相場が、昨今は、兎に角、緩育にて、三億九千餘萬圓、昨日の如き、佛國四銀行が、英國銀行と同時に、割引歩合引上げの發表をなし居る場合、獨り、日本の國相場のみが、昨日、一日丈けに、緩育にて、ボイント入入も騰落せりとありては、眞に財界に、日本の金輪廻解無きを歎み居たる人々も、少からず驚愕を禁じ得ない事なのだらう。

扨、目下の狀態に於ては、簡單に其の發展の程度にては濟むべからず、——現在の「恐慌」驅逐を如何にして切り抜くるやに、都會して居る事なるべきが、而かも、右の恐慌の近因といふが、實に、片岡頭取相就任當時にありとすれば、大臣の一言も亦、苟且ならずすべきならんや。

尤も、鐵ふる所によれば、片岡の放言は、彼の、鐵相就任當時にも之在り、——即ち、日本の二流銀行の破綻が、如何なる危險の狀態にあることを指摘し、之を併合整理する必要あるものと說む。——と洩らせる事が、敏感なる金融業者の耳に入り、所謂、二流銀行に對し、發展の手を引き締めたる事が、實際銀行を初めとし、あかぢ中井、八十四、中澤、左右田、村井等の諸銀行休業の遠因になつてゐるとの事なのだ。

併しながら、夫等銀行の破綻の直接の原因、——たらざる迄も、破綻せしめたる最近の原因は、片岡頭取の辭任が、三月十四日の衆議院豫算總會に於て、吉植代議士の質問に對する答辯中、口ばかれもせざる實業銀行の內幕を曝露し、唯だ、手形交換所決濟の資金に窮し居たるに過ぎざるを、既に破綻せるかの如くに發表し、遂に、日本財界大混亂の基を開くに至つたものなのだ。

但し、片岡の右の失言をなせるに就ては、彼として、右の如き事實ありしものと信ぜしむべき行違ひのありしものとしても、而かも、彼としても、一國の破相たる以上は、右の如き發表が、さらでだに、農手形救濟案を中心として紛擾を續けつゝある日本の經濟界に、如何の波瀾を起す事となるべきやに就て、當然、豫想すべき所がなければならないのだ。

而して、其の放言をなす眼に先づ、最も機敏に、其の波紋の擴大せざるやう、充分の準備を整へなければならなかつたものなのだ。

而かも、彼が、臆面なくも所謂「在りの儘の事實」なるものを發表して、それが、却つて、財界の安定に利益ありと信じたるらしきを以て見れば、或は彼は、取付騷ぎも、左程迄には擴大せざるものと、問題を、輕視し居たるものにてもあらむ乎。——何れにしても、日本財界今日の混亂が、眞實の態度、即ち、圓滑なる川筋と流れさるたる財政當局者に、其の罪の一部を歸せしむべきものたる事丈けは、疑ふ可らざる事のやうなのだ。

× ×

其の結果は即ち、施政當內閣をして、遽に、思ひ掛けなく、不本意の退却を餘儀なくせしむる事ともなつたのだ。——而して、夫れに代りて、田中內閣の出現を見る事となつたのだ。

面かも世界の不安は已まず、更に、第一流の、十五銀行の休業さへも見る事となつた。

人も知る如く、是れは藤族銀行なのだ。——創立後、來月にて正に滿五十年、——世界大戰後には丁酉銀行や、百三銀行や、神戸川崎銀行等を合併して、資本金一億圓（拂込四千九百七十九萬圓）積立金三千百七十九萬圓、昨年上半期十五銀行の休業さへも、尚二流の、十五銀行の休業さへも、尚二流の、十五銀行の休業さへも、尚二流の、

英國の現代劇（上）

小林宗吉

こゝで西洋のひとみに倣ふのではないが、私も及ばずながらコッコッ英語とフランス語の雑誌を引いてゐる。そしてこゝには、友人間で自分が近頃讀んだものゝ一節をするやうな紹介で、最近英國から取寄せた現代劇の書籍（グランヴィール、バーカーの主事してゐる英國劇場協會出版）の中から面白いと思つた三つの戯曲について書いて見たいと思つたのである。

◇

「蜘蛛の卵」

スライーリング・ボイドの作で三幕から出來てゐる。同上署者でたしか、オニールも一幕物を書いてゐたやと思ふ。

このボイドの作は純然たる社會劇である。手法にあまりオリジナリティがない。ゴルスワアーデーと大體同じ流れに立つ人であらうと思ふ。

◇

初めあまり生活程でない夫婦が幸福に住んでゐる。ところがいつの間にか、この主人が監督を賴まれてゐる友人の息子と自分の妻との間に怪しい關係があると村中に噂される。牧師がこの噂を氣に病んで主人に注意する。主人は全然意に介さない。唯、監督を賴まれた青年がいつも晩餐で金を無くするので、常に苦言を呈してゐるのである。

或晩、主人は、いつものやうに自轉車に乘つて夜の勤めに出る町成り遠い勤め先で其晩は歸らない其晩に彼が家を出た同じ時刻に、その青年も同じ道を歩き、何者にか殺されたのである。

殺人の動機は、警察官はすぐ村中の噂の主に結びつける。其晩同時刻に同じ道をいくらかでも通つた主人のアランが一番嫌疑を受けることになる。そして調べを進めるに、このアランが敢も有力なる證據條件を持つてゐるのである。血のついたハンカチ、自轉車用の大ネジ、同じ時刻と同じ方向、家を出る前の筆手、女中の陳述、村の噂。

作者はこの小道具を實にうまく、むしろオー自然に使つてゐるやいかんなく發揮してゐるのである。

アランは、此の無智なる怪物達によつて、到頭、殺人犯として刑を宣告される。

◇

三幕目になつて、此の宣告が公表せられて新聞にのると、一人の男がアランの妻の前に現れる、彼れは、全然他人であるが、青年が殺される犯行の當夜、それを目擊した人で、アランを救ふ有力な證人である。この人によつてアランは刑から救はれる。アランと妻は再生のよろこびに打たれる。が、その時は、アランの持つてゐる唯一の財産である彼の小さい家は、既に裁判の時必要とせられた辯護料の抵當に入つて居り、其の上負債が重なり、立ちどころにこゝを去らねばならぬ羽目に陷つてゐるのである。

新しい生活。ニワトリの卵を生ませて、卵を抱かせて小さいひよこを育てさせる。牧師がすゝめた此の意義のある家畜の職業（アランはもう職を失つてゐたから）も出來なくなつて、此の土地にもゐられない。けれども二人の夫妻は、愛と意志の力によつて生きて行かうと抱き合ふ。

◇

此の戯曲が、シャフツバリー劇場に上演された時、劇の効果が尙ほ滿點であると批評家は批評したらしい。作者もこれは認めてゐるしかし此の種の社會劇は、リアリズムで行くならば、唯が書いてもさうシロクキングには書けまいと思ふ。此の作者は山木有三氏を思はせるが、氏の「兩兒殺し」なぞは一幕でも、この作よりはるかに上に位するものゝやうに思はれる。

旅十五首

服部嘉香

みちのくの白河を過ぎわが汽車はまたみちのくへ走りやまず

野邊なるみちのくの野田のひろくして人間を見ぬわびしさを行く

不足の汽車を降り立つ盛岡の空にまづ見る岩手山雪

みちのくにこは何といふうれしさぞ啄木の山をわが見たりけり

軒下に乘りのはげしき大つらゝ娘人なれば興と見て過ぐ

目のさめは乘りもわびしくつらゝみな雫にとけてしたゝりやまず

雪の上に浮げる木立を家を上を生きしのべりこゝはみちのく

降りやみて五日を積める雪の上に多木かぐろく枝をたゞよはす

盛岡の町のある地にふり見たる氷て雪の中の赤き絹きれ

わが足に踏ひゞき思へば親しもよ岩手公園の凍て雪の路

上野驛にかへれば雪の夜をこめて降りにしあとか白き展望

わが汽車は雪におくれて入りにけりこは上野驛見らるるやがて

わが家は雪の其中に立ちておりありしまゝなれば見れはうれしき

みちのくの深雪よりぞ遙雪のわが家あたり冷たのはげしく

わが家ころゆたけく健をするかなや

時計販賣並に修繕
晩市パウエル街二四四
萩原時計店
電話シー四〇八四

和洋雜貨食料品
晩市アレキサンダー街四三三
電話ハイ七一二
福井商店
福井旅館

ルーミング・ハウス經營者の
御注意
只今の時季は最もヒーティングパイプ及其設備に關する御修繕なさるに好都合です
當店では大勉强で各位の御用に應じます
電話シーモア七七〇
ダブルユープラウン
市内東ヂョージヤ街三三二

高等京南料理
コックはその腕の冴えで料理は價格の如何によつて、値段は大々的勉强
晩香坡市パウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

龜印白味噌特約一手賣賣
晩市パウエル街三三七
蛭崎商店
電話シーモア二四一三

近藤藥店の冠句當選發表
二十内
そしそしと師は見所の學の鞭　すみれ
運のよい世は泰平の高枕　湖東
そしそしと人氣盛るゝ年の市　梅香
笑月
そしそしと異國の金を引く生糸　西川一瓢
そしそしと得意は廣う勉强店　松風
そしそしと耳さわがしい須磨の宿　花扇
そしそしと殉死の花が世に薫る　入千代
利巧者押さへて起る親の禍　西川一瓢
國々で名を賣り歩く旅藝者　土田水月
國々で小鳥さへする春の野に　かすがの
二十内
好きなれば上達を師に驚かす　小阪正風
好きなれば職人まかす髮を結ひ　春月
排斥が加奈陀に生みし四十仙　梅香
これからは頭もたげる土産　朝香音
これからは梅も櫻に世を讓る　梅香
んとこせ敵の土産の松葉づえ　花扇

メガネ新調修繕
電話シー四七六八
郵便切手賣捌所
近藤特許賣藥店
二見堆屋
5390 Powell St. Vancouver, B. C.
丸橋運送業
住宅電話フェヤモント五七七六
出張所 近藤藥店 電シー四七六八

高等
南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎仕候
バウエル街二三七
新北京
電話シーモア五七七四
同支店
電話シーモア三五一七

書籍
新刊到着
村上浪六著　妙法院殿入浪六名作選集　價二、三〇
佐藤耶蘇基　飢を超して　二、八〇
鈴木農學士　花卉蔬菜果樹　溫室園藝　六、〇〇
長尾博士　小兒の家庭看護と應急手當　一、六〇
女子手紙の作り方　一、五〇
獨立實用新書簡文　一、八〇
口語新書簡文　一、五〇
醫料申し受けずお注文は早き方お得で御座います
バウエル街三五七
内田書籍店
電話シー一五八一
S. Uchida
347 Powell St. Vancouver, B. C.

雜誌
迅速丁寧
バウエル街二三八
尾本運送業
並に草畑、キャンデー、果物類
電話シー四六六二
信夫屋旅館
室内清潔と食料低廉とを旨とし且つ丁寧に取扱申すべく候
バウエル街二三四
佐久間太重
電話シー五八三アール

葬儀一式取扱
至極丁寧　費用勉强
フレザーグアレーに於ける最古の葬儀社……何卒御引立を願ひます
新西院第六街三六
デー・マーチ エンド・ソン
葬儀社
電話二四一
支配人
ジエ・エス・フエルグレー

日本行切符取次
アレキサンダー街三三
青木旅館
青木米吉
電話シー一一七五
關根旅館
晩市パウエル街三三五
館主　關根なか
電話シー五三四九アール

和洋雜貨食料品卸小賣
電話（ハイ一三六
近江屋商店
▲和洋食料品一切
陶器類
スキーナ河ボートランディング
岸本商店
□婦子供人衣服
□同附屬品
□ボンネット
□きれ地各種
其他日本婦人向の品種々取そろへ有之候間多少に拘はらず御求の番願上候
デビッドスペンサー
DAVID SPENCER
和洋雜貨
東洋商業會社
P.O.Box 46 Port Essington, B.C.
同支店
324-3rd Ave Prince RuPert, B.C.
郵便七番六電話グリン五七八
主任　大橋松次郎

和洋雜貨食料品
晩市パウエル街七九
江畑商店
電話シー三九八五
御菓子製造
バウエル街二三五
二階にルームあり
横山菓子店
電話シーモア六九四一
葬儀一式取扱
設備完全親切丁寧
ナンエンドトムリン
葬儀社
晩香坡市ホーマー街五三二
電話（警察）シーモア六六二

歯科醫士
雷夢熊
LOUIE MOUN HONG
80 Ponder St, E.
小生晩市に歯科醫として開業十年の經驗を有し口腔外科一切の治療及び按摩の優秀なる術は勿論按摩の如きは即かの痛苦を與へざる事は日本人晴習の知らるゝ處でありますから此際特に鳳駕勉强しますから引續き御光來の程を願ひます
電氣醫療、エキス光線の設備あり

薪石炭賣買
並びに運送業
有利なる廉價迅速に御用命に應じます
住宅電話シー五七七六
小宮吉藏
晩市東カドバ街三五八

新刊書籍雜誌
文房具類一切
（書籍雜誌郵送無代）
Powell Stationery
201 Powell St.
Vancouver, B. C.
月刊書籍
バウエル街二一〇一

朝日グラージ
患實本位
大勉强
自動車修繕及タイヤ、オイル
新古自動車賣買取次
自動車及荷物ストレージ
ブレーキ磨手間賣無料
◆貸自動車
一時間七十五仙外に十哩毎に二十仙ギャソリン代を申受けます
電話シー七六七二
東カドバ街

新古買賣
及金物類
東カドバ街二七七
森山家具店
電話シー三七七三
自宅東カドバ街三三一
N.Y.K.
801 First Ave. Seattle Washi
日本郵船美港出帆廣告代理
晩市
日本郵船シヤトル支店
加賀丸　四月廿六日　五月十日
伊豫丸　四月廿七日　五月十七日
常盤丸　五月十日　五月廿七日
靜岡丸　五月廿三日　六月六日
改正一等運賃一九五弗
二等運賃一九五弗
日本各地行三等特食六〇弗和食五五弗
晩市美港間汽船切符賣捌
日本郵船シヤトル支店
出帆　入港
四月廿七日　切符取次店
晩市中山商一家務所
商業組合
井手律事務所
大正堂北村商會
水原代理事務所
プリンスルパート 村田年夫
美市石田旅館
美市大澤旅館

御旅館
野一色放射蒸熱電氣治療器米加一手販賣所
電話シー一一一一
石田旅館
636 Chatham St. Victoria, B. C.
日本行切符取次
美府チャザム街六三六
郵便一三〇三
電話シー一一一一
御旅館
日本行船切符取次
電話九六四
大澤旅館
520 Fisguard St. Victoria, B. C.
東カドバ街一六三一一六五
和洋雜貨食料品
松宮商店
電話シーモア三五九七
美食家各位はたしかに滿足さるゝ
南京御料理
出し
東京酒樓
晩香坡市バウエル街三五八
▲材料精選▲應接上品▲新たに雇入▲創業十ケ年以上最近一流の料理人支那より來晩致しました事を御披露申上ます
私の店は他の支那料理店とは何等の關係なき事を御諒承まで
電話シーモア三九四二一三三六五番

◇魚類◇肉類◇青物類◇
◇カマボコ製造◇和洋食料品
BC魚店
電話シーモア五四四一
和洋雜貨
絹地綿布各種
宮崎商店
バウエル街三二九〇
電話シー三二九〇
廣島屋旅館
異地家傳膏肩樂飯賣
アレキサンダー街三三〇
佐藤茂平
電話シー一六一七（晩間二六七
和洋食料品一切
並に
運送業
東カドバ街六三三
渡邊商店
電話ハイ三四八二
年中休みなし
バウエル街四二七
電話ハイランド四〇三二アール
千歳湯
煙草菓子果物類一切
家具製造販賣
大工仕事御用に應じますから宜しくお申上ます
ゴーワ街二二八
川出家具店
電話シーモア三五一七

洋服洗濯
アベニウダイオーク
晩市キーファー街七二一
電話ハイ一六五〇
中塚幸次
柳澤元仁
堀七藏
日本人間で一番古い高門のミシンヤ
ミシンはシンガーミシン

洋服仕立プレス
各種レンコート販賣
メーン街三三三
相星洋服店
電話シーモア三七六
洋服洗濯
女子
店より御求めのミシンは何時にても無料で見て上げます
シンガーミシン
日加商會
電ハイ三三四三エルハイ三三ソイ
自宅バウエル街一八二五番
バウエル街一八六七ー六九

家庭欄

「近江聖人」の再來と評判の

十三歳の孝行少年

「滋賀縣」の小學校で表彰さる

近江聖人中江藤樹先生を生んだ滋賀縣高島郡に「いま藤樹」ともいふべき孝子があれ今回同郡川上小學校の尋六式宮甘金校の保護生徒として表彰された、本人は高島郡川上村目貫尉一郎君大正十年に四十六歳で寡婦し續いて父少年で今春前記小學校の卒業式を擧げたがこの卒業證書には血と涙と汗との結晶から成る物語りがある、同人の父は大正十年に四十六歳で寡婦し續いて母せひも翌年三十二歳で倒れしなる當時家庭に殘つたのは石松（八）の外祖母なつ（七）弟梅吉（二）この一老婆三孤兒であつた無初の間は

祖母

が若の身に鋤鍬を執りながら細々と生活を續けて來たが最近では、病氣がちになつて來たが最近では、病氣がちに寢打ちに炊事に一寸の休みもなく立働き、晝は畑や弟の世話やき、晩は夜なべに草鞋を作つて立ち、學校の

勉強

に勵まし續けて來た石松少年が安堵に一家の山でからは、松少年が安堵に一家の山でからは、松少年が安堵に一家

理ヅメの祈禱

◇高知の催行者

高知縣高岡郡戸波村山生吉藏（四）が昨年來發狂してゐるのを見た同村の行者北岡德馬（六）がこれは狸が取りついてゐるのだから私がまだないとしてやらうとおつてお里さんを呼び祭壇にして大きな水盤の中へ押込めて上から蓋をして紙でピッたり目貼りをして了つたそしてでうすかと思ふやうな德馬は蓋の上へ（腰掛）をおいて約五分間呪文を唱へてから護摩木でケセノ屑を炊き增しさゝれで狸は出て來たと蓋を取るとお里は氣絶してゐた、介抱してやつと命だけとり止めたが相變らず精神には異狀がある德馬は警察に引張られてから云つた「お里さんに取ついてゐる狸からケセノ屑を取除けば元のお里さんにならなければならぬ筈ですが」

日本最初の「外氣教室」

「日光浴」しながら勉強

日本で最初の外氣教室が大阪市中大江東小學校に出來上つた、設置費を以容して日光浴をしながら極めて自由にのんびりと遊ばせたり、勉強をさせたりする外氣教室の設備け、アメリカでは頗る

發達

してをり、大抵の學校では一室づつもつてをり、中には全部その個の教室で出來てゐる學校すらあるくらゐなのに、全だ日本ではどこにもこの設備したものがないのは遺憾だといふので、同校では率先して昨年十月からアメリカ人の設計校師ボーリス氏に依頼し同氏の案作的な努力で竣工したものである最初の計畫では天井を全部硝子張りにするはずであつたがボーリス氏の

研究

の結果は日本では光線が强過ぎる關係上アメリカのものとは多少設備を變へなければといふので一部は普通の屋根にしたが、硝子張りを續して來る太陽の光線は部屋の四方全で心地よく徹底するやう入念に設計され、さらに通風の關係から室內の裝飾の點なるべく簡單にしてある、宵木文部省視學官が校舍建築に關して

注意

すべき點として

一、採光は左方又は後方より來るを可とす

二、窓は床面積の五分の一以上を要す

三、窓は成るべく高くして天井に近きを可とす

四、窓は成るべく大にして數多きを可とす

五、窓は成るべく開閉に便利なるを可とす

六、窓は成るべく外光を遮ぎるものなきを可とす

七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

百九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

二百九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

三百九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

四百九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百二十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百三十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百四十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百五十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百六十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百七十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百八十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十七、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十八、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

五百九十九、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百一、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百二、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百三、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百四、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百五、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百六、窓は成るべく外光を反射するものを可とす

六百

電報

軍縮が失敗せば
米海軍擴張の計畫
武裝的平和維持論者
對支武器輸送拒絕

【ワイナスクー二十一日】當地で開かれた國立勞働會議に參加した三萬人の英國勞働者は兵器擴張を製造し且之を支那に戰爭のため輸送することを拒絶する意味の決議文を通過した

【倫敦二十一日發】英國上院海軍問題ニ關シ「ビール」は大統領が不成功に終つた場合には米國は海軍に新勢力を增すことになると述べ下院に於て少くとも最新式大巡洋艦十隻建造案を提出すべしと述べた

【ワシントン二十一日】當地で開かれた三國軍縮會議は八月十二日よりデュネヴァに於て開催されることに決定せるが其會議の準備は悲觀されてゐる

米國上院海軍委員長ニフ・ヘールは大統領が不成功に終つた場合には米國は海軍に新勢力を增すことになると述べ下院に於て少くとも最新式大巡洋艦十隻建造案を提出すべしと述べた

米國は海軍に於ては「軍縮は不成功でもらう他國が軍縮をせねば米國も軍備を擴張すべし」と逃べ下院の海軍委員長「パトラー」は

電報

公認支拂延期

臨時議會は五月三日から

（東京二十二日）　財界動搖への對應として二十五日より三週間の公認支拂延期を決行する件は本日午後閣議で承認された、而して三日より五日間臨時議會開かる～旨發表した、三月中旬に財界の動搖切迫つて以來休業を決行した銀行は三十に達し之等の預金總額は約九億圓と數へられて居る、然るに是等の銀行は未だ破裂されてない、公認支拂延期の期間中に商況愈〻不振に陷るべしと豫期され百數十代他の銀行は大損失を忍耐して居る

（大阪二十二日）　當地の銀行家は銀行整理は基礎鞏固であつて取附の憂はない、銀團團結に就て東京財界が一大奮發にしたことがある、銀行破綻から來た政界の動搖に不安を感じたのである、モレトリヤムに依つて時期は救はれるであろうと述べた

（東京二十二日）　安田銀行は昨日取附にあつた、昨夜臨時閣議は開かれた

中野　芥田　武夫　主將
右翼　水原　義明　高松中學

次しは船中の事であるが海上では朝早くから起きて十時から高杉敎授から熱心に英語の會話を習ひ午後は二時から四時までデッキの上で野球の練習を續け布哇に降りた時は久し振でグラウンドに立つて充分腕をのばして投球や打擊の練習をして居た生活の中で一同吃驚した事件が起つた、それは一同が甲板の上で齊の潮風に吹かれて渡米後の活躍を想像しながら何時もの如く練習してゐた時井口君が打つた球が運惡くゴーン高杉敎授に中つた、中つた高杉敎授及び一同は打つた井口君は素より選手一同はビックリして敎授の許に走り介抱した、當り方は思つたより輕く大したこともなく敎授も直ぐ微笑を浮べて起ち上つたので一同はホッと一息したが一時は大事な引率者に怪我でもあつたらと大分心配したそうだ

■聖チヨーヂ
誕辰祝賀

當地のローカル・ソサエテー・ナヴ・セント・チヨーヂでは英國の聖チヨーヂの記念たる聖チヨーヂの誕辰祝賀の年度夜會を明夜チヤーダン・レストラントで開く筈で州知事ブルース氏も出席するとのこと、猶明日當間には「ノンタフへの供物のあり明後日の朝は唱歌バクル・アングリカン敎會で特別禮拜がある

■當地中華會館
本年度役員

一ケ月前の總會にて當選した當市中華會館本年度の役員五十三名は昨夜九時より役館互選の投票を爲せしに總理司徒旂、副總理李世滔、司徒美堂、軍務總理洪如悅、會計關贊堯、核數員大連工業學校中學部主任伍次郎、千葉中學校長坂本トメ、佐賀中學校長原伊次郎、松本商業學校長大屋治郎、和歌山中學校長藤本政彥、鳥取中學校長川崎常夫、長崎商業學校長下田久太郎、横濱商業學校長井上庄兵衛、同教諭加藤太郎作、同教諭赤星一秀吉

■本年の自制週

敎世軍では本月二十五日から五月七日迄で本年の自制週を實行した

■都市計畫協會
本年の大會

明春東京の都市計畫協會の本年度大會は來る日曜午後二時から東本願寺にて開催される、モレトリヤムには除外かあり中央及び地方應當局者、市川村公共團體の出納、給料、賃金の爲の引出、其他の目的でも一口五百圓以下ならば好いのである

日銀の手形發行は本日二十三億一千八百万圓に達した、六億三千九百萬圓の增加である

▲首相發病

田中首相は本日遂に發病、體温三十九度二分に達した、最近數日の所勞が原因である

▲新警保局長

政友會の山岡萬之助氏は內務省警保局長に擧げられた

▲野黨懇親會

憲政會、政友本黨、新正俱樂部は明日東京會館で懇親會を開くが政友會內閣に反對の決議をするであろう

▲全權出發

軍縮會議への鄕誠全權は夫人同伴本夜東京出發、二十五日神戸乘船する

▲大臣と次官

外務大臣には松平恒雄氏、同次官には松岡洋右氏就任することゝなるらしい（本日着電）

■全權出發

會は五月二十六日から三日間當地で開かれる、會場はホテル・ダンクーバー

■基督教青年會
インタナショナル・ナイト

當地ソイス・メン俱樂部の國際ナイトの催しは昨夜開かれ支那人ナユー氏の「支那形勢」に關する演說なかゝり盛會であつた、合同敎會の淸水小三郎氏も出席した

◉立寄つた
女子見學團

同業北米時事が主催となるシャトル第一世女子の日本見學團一行は日本への途次今朝來晩し正午十二時當國々中を通じて本月三十日から一週間に亘り鐵詰トメト週として宣傳する筈

◉鐵詰トメト週

馬純泰氏は一行見送りの爲同時に來晩した

晩香坡で映畫事業
監督主任はクリサンダー君
日曜日加州を出發、北上

英國が米國映畫の壓倒的勢力を重大視し英帝國系の映畫事業を求めて來つた機運に見てカナヂヤン・ナショナル・シネマ・スチユヂオ會社は晩香坡に本據を置いて映畫製作に從事せんとし加州で映畫監督として名あるニルス・サラフ・クリサンダー氏は之に監督主任として就職することを諾し明後日右加奈陀會社の代表アンドルー・アンダーソン氏と共にパリー・ウッドを出發し北上來晩する事となつた着晩の上は一切を取急ぎ成るべく今秋には撮影着手を見るやうにとの事

加奈陀の歷史物にしたい、加州には英國出の俳優で映畫界に活躍してゐるのが隨分あり仕事の間に之等を晩香坡で使ふことが出來る、何れ晩香坡の地歩が固まつたら長期に亘り引續いて晩香坡で働くことにもなろうと云々と語つたそうである

■活畫女優駒子
土産の羽子板と刀劍

既報に日本の活畫女優で米國育ちの砂田駒子は夫たる撮影監督德永文六氏と共に愈〻最近着桑した、德永は往年當地へ梶山爲雄が初めて見へてサフイウム（登場した當時同行し來つた人、其後加州で映畫界に入り所謂パートを引受けてフイルム（現れ次で日本へ輸つて監督に用ひられたのである、二人が名をあげたのは映畫「愛に囁く」及び「東洋のカルメン」で德永氏が監督し駒子さんが主演

◇鮮かな
手腕に日本中のファンの血を湧かし乍れから引續いて活躍してゐる、今度渡米の際携へて來た「心なき都」及び「櫻咲く國」と云ふ駒子主演德永監督の映畫を船中で映寫し船客に觀せたり駒子さんは船中の餘興會には何時も出席して日白人對手に巧みな踊り振りを示し流石は女優だと感心せしめたど、因みに二人は米國で「さらばアゾナ」と「タイグラス・オヴ・シャンハイ」と云ふ映畫を白人俳優を使用して作製する由で尙日活新派俳優一同からドビックフオード、チヤレー・チヤプリン、コリーン・ムーア、ノーマ・タルマッヂ、ポーラ・ネグリ等に贈る美しい

◇羽子板
及び日活の監督一同から米國の名監督デミルに贈つた名劍一口を今度持つて來た

■釋尊、親鸞兩聖
降誕祝賀會
來る日曜午後二時
東本願寺にて

晩香坡東本願寺に於ては來る廿四日（日曜日）左記の順序にて釋尊親鸞兩聖の降誕祝賀奉讚法會を執行する、尙當日は婦人會の赤飯及び甘茶の接待がある

▲第一部（午後二時より）△讀經△各代表燒香△女子青年會員宗歌合唱△各代表祝辭△宗祖降誕歌日校生徒△祝賀法話水戸開敎使

▲第二部△三浦開敎使挨拶△花祭歌一同△日校生徒の獻花、遊戲、對話△江州音頭櫻川源龍外一名△琵琶悲劇（石童丸）一幕成行、猪本、前迫△閉會の辭

◉基督敎婦人會の
音樂演藝會
明晩七時半から
体育館で

本紙既報——合同敎會基督敎婦人會主催の音樂演藝會は明二十三日夜七時半から体育館で開かれるミス長戸、ミス東山、裴原ドクターの息子さん、內田仙太郎氏の娘さん二人のピヤノの外に友田君のハーモニカ、ミス林の擧、ミセス小宮山の獨唱なほ最後の小山內薰作「森有禮」二幕三場が呼物になつてゐる——役割は西野文太郎に栗尾水月氏、森有禮に北村嵩明氏等にて男優だち十二人出場すると

◉フレザーミル通信

去る十九日午後七時半より同和會事務所に於て過般擧行せし同會創立五週年祝賀會に關し鞏力せる諸氏を招待して慰勞會開催、來會者廿餘名宮城島氏の挨拶、來賓を代表して馬場氏答辭を述べ夫れより宴に移る卓上は馳走の山、賭物の數〻、餘興出盡會裡に十一時散會

◉死亡

熊本縣人坂本子ノ入氏は病氣養生中の處昨廿一日遂に死去葬儀は明日午後三時半より東本願寺に於て執行される

◉裁縫稽古

明土曜午後一時半からドバハウエル街東山閣女學校內で本派少女會主催熊谷夫人指導裁縫の稽古があると

◇營業案內◇

◆樂々の久子さんは從來の所を擴張時間店し今度衣の一方を讀り受けて一層勉强營業する由又最近で生鰻が到着したど電話は七五三三

婦人小供裁縫
並プレス店開國につき至急讀りたし御希望者は左記へ御問合せ下さい
パウエル街五三七

男子の洋服
スタイル、品質、技工
多田洋服店
東（スタングス街四四二一
電話ハイランド三一二一

入用
謹告

妾事從來アレキサンダー街三二〇にて營業中は皆々樣より一方ならぬ御引立を辱ふし厚く御禮申上ますが今度都合上野田時間所を閉店爲

新小說
戀の殿堂 (九十)
田山花袋作

兩方の心 (5)

「だつて、あの方はそんな方ぢやないんですもの……。立派な紳士なんですもの……。だから私、つき合つてゐるんです。あなたのことだつて、お客でゐる時分から知つてゐるんですし、それは眞面目な方なんですもの……」

どこまで行つても、さうした附焼にはやつぱり香窓の分子よりも背窓の分子の多いのを正木は感じた。いや、それは今ばかりではなかつた。いつでもさうであつた。そのをりをりにつけての苦しみ、——それから先には一歩も入つて行けない苦しみがまたしてもかなりに強い力でかれの胸をおさへるやうにした。その山田に對してゐるやうな氣持は、一體さういふものなのかしら？

「……」

「だつて、山田さんなんか、お客でもない時だつて、そんなとは少しもなかつた人なんですもの……。それはよく知つてゐるわ……。私がさうひぢやなかつたんでせう……。しかし、そんなことはちつともないんですからね……」

（さうだか、それはわからん……）

それは正木は口の中でいつて、

「しかし、いつかお前が梶原の二階で、長い間一緒に坐つてゐたことがあるぢやないか。あれはお前の口から出たことだからたしかだ……。何一つ足りないことのない君だからさうにもならないけども、もしこれがさうでなかつたら……とその時山田が言つたさうぢやないか。僕はそれを聞いた時はあまり好い心持はしなかつた。何が何だかわからないやうな氣がした……」

「だつて、それはさうだつたんですもの……。私はうそなんか言つたんぢやないんです……。それは僕の年だつたと思ふわねえ。よく知つてくれたんですからねえ……」

出家はそこへ佇んでしまひました。かれの眼には、昔から城を傾けたり國を傾けたりした女のまよはしと言ふよりは、さういふものに沈めんして、命をも餘所に——命などは何でもない、さうした悦樂に比しては何でもないといふやうに深く深く落ちて行つた男性の狀態が著しく鮮かさを持つて映つて來た。

かれはさういふ風に異性を感ぜせた美しいひとりの女性が、風にも堪へられないやうなかよわいその體が、または大空のやうな深さを持つたその青白いはだへが、最後には第三者の群衆や軍兵の手に任せられて、國の亂れたのもこいつのためとばかりに簡單にその首になほを卷かれて、たち〳〵とよろめきながら忽ちに息の絶えて行つたさまをはつきりと眼に浮べた。たれかそういふものでもあつて、不可抗力的にかの女の息の根をとめてでもくれるものがなければ、とてもかれには斷念はないことを正木は感じた。

「……」さういつていゝか正木にはわからなくなつた。いろ〳〵なことが頭の中で混亂した。中でもかれのあとにすぐ續いて來て、ひよつとするとその身をも追ひ越してしまふかもしれないその山田といふ男の面魂がはつきりと浮んだ。

だしぬけに激情が正木をとらへた。その桃の實を割つたやうな赤い肉的な唇を見詰めても見詰めてもその奥を知ることの出來ないやうなその謎的な眼とに、かれの生生が、かれの生生の努力がをとめてでもくれるものがなければ、とてもかれには斷念はないことを正木は感じた。

春の句

十　黃

汐干して舟に騙れば風雨かな

盧　子

この身盧に任せしものを寒さけり

同

盧塞いで浪音松にある日かな

同

オトギバナシ
金の孔雀 (二)
山田邦子

王子は喜びを藏めのこと〳〵こもるまなざしをして遠く〳〵孔雀の行方を見遣つてゐましたがやがて其姿が翠の間に金の星程小さくなり、間もなく消えてしまつたのを見ると、すぐに傍に命じて旅の用意をなされました。

お供にはお氣に入りの武士を隨一人お召しつれになり、キラ〳〵と輝く劍を腰にさげて、白馬にまたがつた王子は見るから頼のやうでありました。

王子はスヅ笈王のお城にお立ち寄りになりましたが、笈王は御心配のあまり、博士たちを召してお占をしてゐらんになりましたところが、一年たたぬ間に王子は目的を遂して目出度く御歸城になる事が出來たので一同は樂しんで其日をお待ち申しました。

お話かはつてここは印度の東の或片山里にごく貧しい村がありました。其村の片はづれにもう大變腰のまがつた老婆とまだ十三くらゐにしかならない娘とが住んで居りました。こんな貧しい家の娘とはいへ、其娘の金髮は丁度太陽の光のやうなうづをなして卽いて居り、夜も光がさすのでした。娘の名はマヤと呼びました、太陽のやうに、娘を見るものの心に温かく何か希望をさへ與へるやうな感じがしましたので、村の者は皆マヤを愛して居りました。

或る暑い日の夕方でした、一人の見るから貧しげな出家僧が、大へん疲れたやうにして乞食の前に立つて低い聲でお經をあげてゐました。

「おばあさん、御出家がお立ちですが何ももあげるものがなくて……」

「さうだねエ、あゝもう太陽さまが落ちては老人は仕事が出來ない……これを仕上げればいくらかにはなるのだけれど、今の處では何も差上るものはないよ」

かういつて老婆は糸をつむいで居りました、

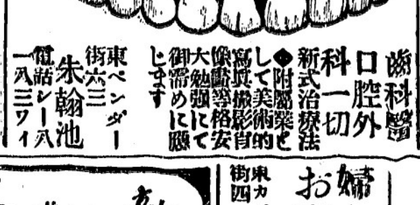
「でも……そら、水ならあるでせう」

「エゝ水……さうさねエ」

二人は當惑しました、すると外の僧は讀經をやめて

「おばあさん、水で結構です、私はもう咽喉が乾いてさつきから死にさうなのですが、其水がどちらからも頂けませんでした。一滴でもいやうな氣がした。かれの咽には、昔から城を傾けたり國を傾けたりした女のまよはしと言ふよりは、さういふものに沈めんして、命をも餘所に——命などは何でもない、さうした悦樂に比しては何でもないといふやうに深く深く落ちて行つた男性の狀態が著しく鮮かさを持つて映つて來た。

かれはさういふ風に異性を感ぜせた美しいひとりの女性が、風にも堪へられないやうなかよわいその體が、または大空のやうな深さを持つたその青白いはだへが、最後には第三者の群衆や軍兵の手に任せられて、國の亂れたのもこいつのためとばかりに簡單にその首になほを卷かれて、たち〳〵とよろめきながら忽ちに息の絶えて行つたさまをはつきりと眼に浮べた。たれかそういふものでもあつて、不可抗力的にかの女の息の根をとめてでもくれるものがなければ、とてもかれには斷念はないことを正木は感じた。



◆合◆ 種子物
農園の種子物は創業二十二年間の經驗で精選の物ですから其良種なる事は保證致します殊に次の種物は同胞の爲特別に注意してゐます
◎時なし大根、練馬大根、聖護院大根、新菊、法蓮草、枸子菜、縮細菜、辛子菜、水菜、玉菜、稚者菜、ぼう、婦草、さやえんどう、花えんどう、蘿蔔、南瓜、きゆり、其他何種子でも送り賃は申受けません（ポテト類、豆類は此限りでなし）
アナレス種子物園
園主 佐々木習最
P.O.Box 635 New Westminster, B.C.
取次店
晩市バウエル街〆ーン街西角
鈴木商店
堀田重次郎商店
古川魚商店
中山魚商店
晩市西第四街新西院ステプストン ルパート

◆男女◆ 洋服 裁斷
ドレス子供物
縫方一週五回
希望者の爲便宜の爲晝夜教授致します
青木
東ベンダー街六三
朱翰池
電話シー八一八三ワイ

瀬科醫 口腔外科一切 新式治療法
◆附屬菜として美術的寫眞撮影自像畫等格安大勉强にて御需めに應じます

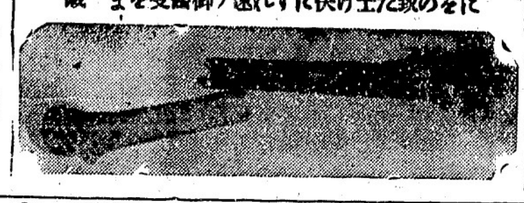
◆男女◆ 洋服仕立 特別安値
裁斷實地教授
電話シーモア九九六九アール
商姓名落由野
改名 金丸由野
バウエル街二一五

◆こうじ◆ 青物
◆鮮魚◆ 鳥牛肉
敷島魚肉店
電話シーモア四四九九

◆婦人◆ 小供服裁縫教授
お安く仕立物いたします
東カドバ街四一六
電話バイランド四二二四
熊谷みつ子

新古家具及金物類賣買
晩市メーン街二二四
太陽家具店
電話シー四二八二
滿口・桐星

漁業用具一切
△ヤソリンエンジン
△ケント、オーニング
VACラバブーツ
エドワード
リプセット
Phone Sey. 6031
68 Water St. Vancouver, B.C.



私儀自動車に蝶かれ左股を挫き（下圖如く）難儀致し居りましたる處林醫士の治療を受け數日にて全快したので大に喜び居りますし若し負傷された場合は早速電話シーモア三六二七に御掛次第に參上致します
林醫士の治療を受けなされ同醫士の治療を受けられん事をお勸め致します
井上德一

◆名◆ 人名案内
バウエル街三三八
加藤靴店
電話シー二二六九
住宅アレキサンダー四一四
ハイランド三五五エル

バウエル街三五六
名畑靴店
電話シーモア七八一九

バウエル街二五八
小澤靴店
電話シー三七一一
住宅南カドバ街五五七
電ハイ三〇四二ワイ

日本汽船切符取次仕り候
雜貨食料品
エキスプレス
晩市バウエル街四五三
郵國一二六四
電話ハイ四八九
堀善商店

御旅館
各室スチームヒーター及湯水の設備あり
プリンスルパート郵函七号
持田旅館

電話六五九
此度横濱正金銀行と特約致し當館カナヂアンバンク・オブ・コンマースを通じ無手數料で日本各地に送金致します

御婦人御子達 衣類專門
晩市バウエル街三二八
東山商會

スタープストン トランスファー出張所
村上馨
電話シー八七一三
スタープストン 電話八五八八

◆スター◆ 魚肉店
晩市バウエル街三五五
電話シーモア三三五六
精肉 鮮魚 野菜類
カマボコ並に漬物
鑵詰類一切

◆御來店現金御買上げの方には割引付受取を差上げ受取券金額十弗以上御持參の方には其五分に相當する商品を差上げます
◆地方のお方には精々品物を精選勉强致し安全に確實迅速に御屆り申上ます

◆御婦人◆ 名キウ及び油キウ
神經痛、リウマチス、百日咳、せんそく、癎癪、男女諸病一切
西第四街三三五
電話フエヤ九八三エル
櫻田

紙函 折函
製造は安價に仕て御注文に應じます
バウエル街七六九電ハイ四四四
中尾紙函製造所

晩香坡市ゴーア街三二九
加奈陀日本人會
The Canadian Japanese Ass'n.
329 Gore Ave., Vancouver, B.C.

REGENT TAILORS
33 Hastings St, W.
加奈陀最大の洋服仕立店
スーツ、オバーコート特別仕立
廿五弗均一
保証附でせんなスタイルでも御好みに應じて仕立ます
見本は種々取揃へて居ります
西へステングス街三三
リーゼント テイラー

I.S TAILOR
新柄切地が澤山さゐりさした御遊なされる方々はいつ〳〵と御注文して下さい何時でもお間に合せます
井上洋服店
値段の安い事品質のよい事流行スタイルを御好みなら當店に限ります
晩市電話ゴーレン街二一七三

御婦人た子供衆の
ドレス、コート、スカーツ等
其他一切大勉强で御注文に應じます
西へステングス街五七
電話シーモア貳參貳參
益本商會

◆ステプストン◆ 晩香坡間運送
日本トランスフアー
電話シー一三三五 ステプストン入六

◆晩市◆ 衣類一切
松宮瀨野雜貨店
電話シーモア 四一九一

男物一切
晩市バウエル街二一八
日英商會
電話シーモア一六〇〇

世界の誇り グッドヤー タイヤ
其他自轉車附屬品一切大勉强で御用命に應じます
晩香坡市アレキサンダー街ゴーア街角
郵人唯一のグッドヤータイヤー特約代理店
日本オート
電話シーモア一四五八

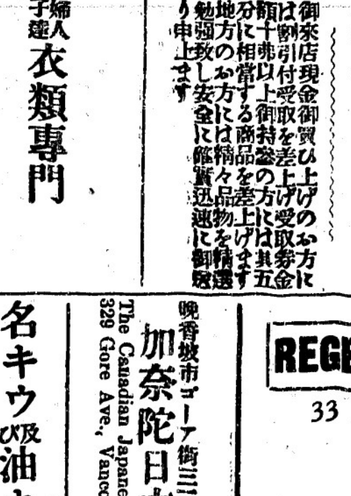
◆名◆ 男女諸病一切
先祖傳來並に○病小供婦の灸及せんそく
バウエル街四一三
新谷二吉郎
電話ハイランド七三三

支那野菜種子 白菜
大根各種着荷
西ベンダー街二六
生隆棧
電話シー六七二

和洋◆ 雜貨食料品
日用品一切
ポートエレンストン郵函二七
龜田商店
P. O. Box 27 Port Essington, B. C.

雜貨食料品
晩市東カドバ街一五一
紀伊商會
電話シーモア六八三

女性の悩み 解決あり
御惱みのお方は小店に御相談下さいませ必ず御滿足を得らるゝ樣良藥を差上げます



●月〇の不順には
クアスト 五弗十弗
通經腦 五弗
エメゴン錠 二弗五十仙五弗
青龍丸 一弗
一日丸 一弗二弗
明月丸 一弗二弗

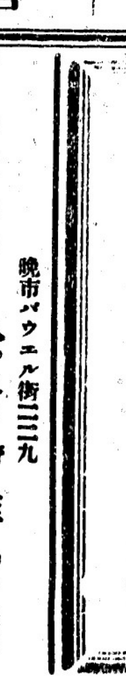
●コシケには
子〇龍顏 二弗
保命球 一弗五十仙
ピホー球 一弗五十仙

乙女錠 二弗、オヂナ球 一弗、中將球 一弗
●血の道の病には
中將湯一弗二弗 ピホー二弗三弗 實母散一弗二十仙
三日散一弗二弗 サフラン酒一弗五十仙 善心一弗二弗
命の母一弗 保命湯一弗二弗 キナナフラン酒二弗五十仙
●胞の腹子五弗より種々ございます
バウエル街四三番 電話シー七三三五
新見商會
NIMI SHOKAI 331 Powell St. Vancouver, B. C.

フラックス・ギルネット
上最等のスコットランド製
晩市ピーター街五〇〇（ペキンス總物）
クロフオードエンドスチユアート

貴金屬寶石類 金銀時計修繕 和洋美術、雜貨
新四號市第八街二九
中村時計商會
電話一〇六九エル 店主 中村助次郎

Abbey's SALT
便し化滯洗を
通し消救を
秘を助く
食物を
胃を
何れの藥店にもあり



アベース・ソルト

◇—◇

英國から 金のメダル 傳達の式

唯夏伊豆神にて遭難のネープルス號乘組員の救助者に對し同船主及び保險業者から英國政府を經て賞金を贈ることになり三月十七日英國大使館に救助者である春日艦長太田大佐、同艦の坂部運用長、乘組員代表井上一等水兵、芝罘陸戰隊等を招き英國皇帝陛下から賜與の金メダルを添へてそれ〴〵傳達された、寫眞はその贈與の席に於ける右より横須賀鎭守府副官鵜田大尉、金井一等水兵、春日艦長太田大佐、英國大使で中央は水兵の持つてゐるのが金メダルである

◇—◇

三兒と共に心中した妻の亡靈に 責め惱まされた男

自殺しかねて一年目に自首す

三月二十三日未明みすぼらしい風體の男がせう然として東京府下碑衾町有馬署に出頭し「自分は今まで警察の目を逃れてゐたものですが……」とあはれな事情を自首した、この男は佐久間清（三九）といひ、當時

世人の涙を催させた昨年

四月十七日の曉、府下板橋仕下練馬町田柄の麥畑で愛兒千代子（九）あつ子（八）とみ子（五）の三人を無殘に絞殺して自らは附近下赤塚の鐵路のさびの消えた佐久間かよ子（三三）の夫や、同人は當時同町旭煉炭外交員を勤務中二百圓を橫領して所在をくらましてゐたが、うゑ、ひもじ、た妻子が哀れな死を遂げたことを

新聞で知つてからは生きた心地もなく諸所をはいくわいしてゐた、そのうち府下本田村上木下川一六九かざりや大橋松五郎方へ伯父の名前橋信雄と僞名して奉公したが、夢うつゝとなく妻子の悲痛な死の叫びに脅かされ、去る一月上旬妻子等の葬られてゐる赤塚村町源院の妻と子の墓の前で自殺を計らうとしたが決しかね以來しかばねのやうに實られてさまよつてゐたことを申し立てた、納有署ではそれ等の點に就き取調べを續けてゐる

土葬火葬で村の爭ひ

村長困つて姿をカクす

大阪府中河內郡岸和田町外二箇村組合立の共同墓地は從來共同墓地を設置するの際起り、村民多數派は當局の許可を得火葬場を新設し、村役場は今後死體は火葬に附することゝしたところ、當局は大正十四年に火葬場を設置するの際起り、村民多數派は當局の許可を得火葬場を新設し、村役場は今後死體は火葬に附することゝしたしかるに去月下旬火葬場設置反對派の家族の一名が死亡したので、同家族は土葬許可願を役場に申請したところ、當局は

規定に反するとて、受理しなかつたため、家族は旬日にわたつて放置したまゝ憤慨を桶に土葬願を固持し、ために松井村長は有署に出頭し「自分は今まで警察の目を逃れてゐたものですが……」とあはれな事情を自首した、この男は佐久間清（三九）といひ、當時

十一の小僧を鐵棒で ナグり殺す

虐使する菓子屋

大阪浪速區西神田町菓子製造業堀口直次郎（三二）は雇人の梶健三（一一）を虐使してゐる風評に所轄難波署員が取調べたところ、健三は奈良縣郡山の生れ幼少の時兩親に

死別し叔父の手で育てられてゐたが、その叔父も死亡して全くの孤兒となり昨年七月堀口方へ無給で使用されることゝなつたものだが、直次郎は性來の短氣と殘虐性から殴る蹴るはもちろん時には鐵砲で滅多打ちにしたり油揚用の鐵網で打つたり慘虐の限りをつくし、健三の手、腕、首筋等全身二十ケ所の生傷があり、昨年の秋菓子を傷げる煮油を

頭部にぶつかけたのが右の耳に入り遂に聾となり耳殻に火傷を負ひ今なほ膿汁赤に爛れてをり、また去る一月未ごろ便所に行つて歸りが遲いとて便所に入つてゐる健三の足を長さ四尺の鐵棒で毆打しその爲め健三は兩足に二寸餘の裂傷を負ひ、何らの手當をしなかつた爲めに傷口がざくろのやうに爛れ出し

左足はぶすくに腐つて足首が落ちさうになつてしまつたその上朝早くおきぬとて朝食を食はしたこと殆んどなく本年に入つて朝食をとつたこと三、四回、入浴も滅多にさゝず垢は積つてボロ〳〵と落ちる有樣である直次郎は傷害強要罪工業勞働最低年齡違反によつて檢事局に送らる、はずである

◇新綴日本便り◇

◇松本市「あの男に刑務所を出られては」と警察がヘンな心配をして居る男がある、入山邊村生まれの上條福市（五）で、同人は大のなまけ者、働いて食はうとはせず、腹がへれば飯錢飲食は勿論、店頭の飲食物を手當り次第に攫つて食つて平然として居る、それで留置場や刑務所へ入れゝば、「これで暫に不自由はしない」と安心をして居る、前科數犯所有の低能兒だが窃盜放火未遂入ケ月の刑を終へて出獄、今度は殺人罪の刑を終へて出獄、今度は殺人罪の刑を終へて出獄、今度は殺人罪

飛彈名匠傳

〔第四十席〕

演講 雨樂夢海

客「お客様、御生でございます、何うか酒の方は後廻しになすつて下さいまし、鰹で例のお手紙でございますが……」主「よし〳〵、今迄てやる、出來たら爭を叩くから下へ往つて貰ひ度い」客「左樣でございますか、今日は何うあつても片を付けて頂かないと困ります」主「私の方は蟲の啻で驚樂をして居るのだやせずに待つて居るが宜い」客「判つて居る、心配せずに待つて居るが宜い」客主ら不安に思ひながら下へ降りて行く、その後で紺五郎が四方を見廻すと、傳の床柱がありましたから、例の二振の脇を出し、其の内刀を丸く抉り拔いて、一生命にコツリ〳〵と彫り始めました、彼是一刻餘り經つて漸く出來上り、紙につゝんで手をパチ〳〵らわざ〳〵取寄せなす大層の床柱へ洞穴を掘つて、何うか酒の方は後廻しになすつて下さいまし、鰹で例のお手紙でございますが……」客主「よし〳〵、今迄てやる、出來たら爭を叩くから下へ往つて貰ひ度い」客「左樣でございますか、今日は何うあつても片を付けて頂かないと困ります」主「私の方は蟲の啻で驚樂をして居るのだやせずに待つて居るが宜い」客主ら不安に思ひながら下へ降りて行く、その後で紺五郎が四方を見廻すと、傳の床柱がありましたから、例の二振の脇を出し、其の内刀を丸く抉り拔いて、一生命にコツリ〳〵と彫り始めました、彼是一刻餘り經つて漸く出來上り、紙につゝんで手をパチ〳〵た匠「やあ、これはお越し、私が飛彈の匠だ」客「へゝ、始めてお目にかゝります、私は本町通り越後屋繁兵衛でございます」匠「はう、何か頼みがあつて參つたそうだが一體何の普請だ、但しは床の間へ彫つてはしいと申すのかな、之迄は下々の頼みがあつても彫らなかつたが、强いて頼むとあれば彫らない事もない、定めて下圖を持つて來なすつたらう」と言はれて繁兵衛はど〳〵閉口した。

都々逸

すつとつゞいて、ゆめみのわるさ、そらしてはツかり、ねる目もと

◇

耳止め、此處を拔け出た去年は島田、髷で今年は花の山

◇

飛彈の匠に逢ふ瀬も、身につまされて、戀し〳〵、逢ひ不足

おすしにうどんは
多福
ダンレビー街一三五 電話シー四三五七

ペンター塗請負
メーン街一〇一六
米山果物店

プラミング 鉛に一般
バウエル街四五七
ゼーケツトルマン
電話ハイ三三六 住宅フエヤ參參貳九
洋服ドレス 仕立
晩市メーン街三三二(山陽商會)
電話シー六三六 牧野姉妹 裁縫部

かまぼこ製造
ダンレビー街一〇七
電話シー四一六四
板熊

あんま
アレキサンダー街六六六
山路平吉
電話ハイランド九九

苺根食虫驅除藥
◎ゴーウエスト灣◎
收次所 ツレヨン市鄭區四八
藤野榮次郎
電話貳參參

魚類
肉類
青物類
カマボコ
和洋食料品
バウエル街二六二
田中六彌
電話シーモア五六六二

紙はり
晩市デヤクソン街二三六
安仲豐
電話ハイ七壹壹アール

Japanese Brokerage Co.
332 Powell St.
Vancouver, B.C.

徵兵徵集延期願代書 料金二弗證明
グロサリー店賣物 料共外に郵稅
一日百弗內外の賣行あり 電車停留所で有望
土地家屋、商店、ホテル、風呂、床場等賣買仲立
專門辯護士ドクター紹介 通辯代書
ドミニオン生命保險會社加奈陀日本人部總代理店
バウエル街參參貳貳 奥村事務所
電話シーモア六四六七 住宅ハイ三〇六三アール

和洋雜貨食料品
ニユーウエストミンスター市
コロンビア街八三七、八三九
西口商店
電話 自宅 一二六一 九〇九X

御婦人 子供 用品
男子用品及家具類一切
澁谷商店
晩市バウエル街三七四—三七八
電話シーモア 六三六二

御婦人 子供 用品
男子用品及家具類一切
澁谷商店
晩市バウエル街三七四—三七八
電話シーモア 六三六二

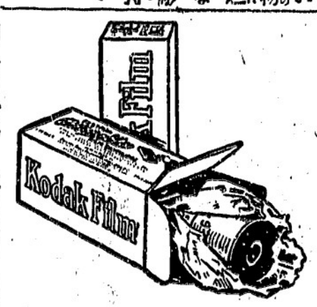
神經錠
一弗三弗 神經衰弱、ヒステリー、腦溢血、頭痛、
不眠症半身不隨
六十仙 壹多き人、のぼせ、耳なり、眼がすみ常に
胃腸の弱き人

毒滅
吹出物、かゆがり、はたけ、南京虫のみ、ばら總て
昆虫類にさゝれ

不可飲
腦病、のぼせ、頭痛、たちくらみ、耳
鳴りはぐき痛、鼻血、顏の吹出物

首より上の藥

晩香坡市バウエル街二四九
コダツク寫眞機
特約販賣店
誠心堂
電話シーモア四八八四



石炭販賣
バウエル街二四九電話シー四八四自宅シー八四三七エル
誠心堂內
若林運送社

瀕く春がきました
野山の御散歩にも御寫眞機
御相手に
イーストマン寫眞機にフイルム
現像と燒付は速かに致します
日本より最近荷御案內申上ます

奥村托兒所
通學兒童は勿論乳兒もお世話致し
ます御希望の方に規則書を御送附
申します
東デコーション街七三八
電話ハイ一二四九エル
主在 奥村豐子

帽子製造販賣
御婦人奉仕
夏帽製作致します
電話にて申付下さい
見本持參
西第二街二五七
友田帽子製造所
電話 L 6086 ヤエフ

和洋食料品一切
精米業
賣つぎも大勉强で致します
運送業
アレキサンダー街四七四
酒井精米所
電話ハイランド四五二

大工道具一切
バンクーバー街三六八
秋山金物店
電話シーモア四五五七

料理屋飯屋案內

御料理
アレキサンダー街三三八
いろは
道子 靜子 芳子 榮
電話シーモア五三四九エル

バウエル街四四一
林家
出前致します
電話ハイランド一九九

すし 色々辨當並にめし
電話シー五七八二
バウエル街三九三
〇一めしや

バウエル街二五〇
天狗
出前致します 電話シー三五三八

すしうどんそば
バウエル街二五二
鶴の家
電話シーモア四一〇九
中川つる

バウエル街二六六
日の丸
電話シー三四三三

バウエル街四三九
九州屋旅館
江島順藏
電話ハイ三九八八エル

有門寫眞館
出寫專門
東カドバ街七四七
電話ハイ八七六エル

御旅館
ジヤクソン街參貳貳
井上倉次郎
電話ハイ二〇三エル

あんま
今津なか
サンルーム三號室
電話シー七三九九エツキス

雜貨食料品
晩市バウエル街五六六
㊎梶木商店
電話ハイ貳貳五三

松マキ及コール
各種販賣致します
アレキサンダー街四〇九
タイガー
薪炭商會
四畑長次郎
西村市藏
電話ハイ八五七
住宅ベビユー六三九アール

和洋食料品一切
精米業
賣つぎも大勉强で致します
運送業
アレキサンダー街四七四
酒井精米所
電話ハイランド四五二

前川石炭運送販賣
晩市バウエル街三四四
電話シーモア二二四〇

鮮魚 青物
鳥牛肉
晩市バウエル街三三三
前川魚肉店
前川三之助
電話シーモア三七八二 住宅シー六二七エル

鉱泉按腹 指壓治
西洋マツサージ
電話にて御用仰せつけ下さい
晚市フロント街一四八
島森ヤヒン
電話フエヤ四三二エル
增田かね

鍼灸あんま
電氣治療專門
晚市バウエル街三九六ホテル
ウオールド一〇八號室
電話シーモア一四三エル
松居

先傳來名灸 男女諸病一切
神に按摩按腹及脊つぎ筋違ひ
小供のかんの灸
ダンレビー街二三七
鎌倉

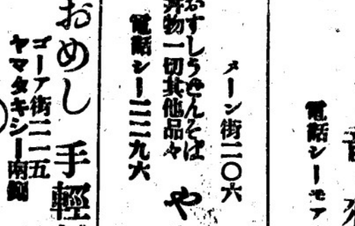
バウエル街二〇六
大倉洗濯所
事務所 電話シーモア六七〇〇
工場 ランスダウン街一六〇〇
電話フエヤ一一

手打うどんそば

T. MAIKAWA
369 Powell St. Vancouver, B. C.

新種物到着
日本野菜種 各種
當國花種 各種
同野菜種 各種

今便にて新しい種物が澤山到着しました
「種物は前川の種でなくてはと」定評を受つて居ます
何卒品切にならぬ內御用命を願ひます
(目錄御入用の節は御申越次第單價級附致します)
晚市バウエル街三六九
前川商店
電話 シーモア參七貳壹



石炭販賣
忠
運送社
晚市バウエル街三〇〇(走田隣居內)
電話シーモア 六〇九七
自宅ハイランド四〇六七

C. N. S. CO.
337 Gore Ave. Phone Sey. 839
Vancouver, B. C.

人員募集
シーピーアール
クウトルバーレー鐵道線ヤング
シーピーアール
大阪商船
日本郵船
各汽船切符販賣
日加用達會社
(晚香坡市ゴーア街三三七)
(電話 シーモア 入三九)

新日本野菜種 國產に優る
野菜花種 多數着荷
バウエル街二〇五
菅本商店
電話シーモア三三九三

各國高名自轉車各種着
月賦は如何樣でも御相談申します
米國製ピーアス號 六十五弗以上
英國製ピー・エス・ニー號 五十五弗以上
當國製コロンビヤ號 四十弗以上
御用中古 十五弗以上
三ケ年保證付米國一等助手使三ツ車 各種車
入弗以上右々

お忘れなき樣に日本行には新古舊機の自轉車を必ずお勸め申します

高等旅館
バウエル街三九六
電話シー三七八八
高橋菊助
ホテル・ウオールド
ターメー自轉車店
晚市メーン街壹壹貳
電話シー八五二〇

石炭販賣
晚市デヤクソン街一三〇 一力拳の下
電話シーモア三二九貳夜間自宅ハイランド五三六エツキス
マキ 當山運送舍
當山、栗木